令和６年度
猪名川町　認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

１　認知症地域支援推進員：3名

２　認知症地域支援推進員の役割

・キャラバン・メイトとの認知症カフェの企画・運営

・脳の健康教室等の認知症予防事業

・認知症の人の社会参加支援、地域での居場所作り支援

・認知症サポーター養成講座、行方不明者捜索訓練の企画・運営

・猪名川町でのチームオレンジの模索

報告者氏名：猪名川町清陵中学校区地域包括支援センター
菅野　淳子・江原　有紀

猪名川町　認知症施策全体図

	発症前	軽度認知障害（MCI）	初期	中期	進行期	終末期
	物忘れはあるが、日常生活は自立。	認知症の疑いはあるが、金銭感覚や買い物、日常生活は自立。	金銭感覚や買い物のミスはあるが日常生活は自立。	服薬管理、電話訪問対応が困難。誰かの見守りがあれば日常生活は自立。	着替えや食事・排泄がうまくできない。日常生活に手助け・介護が必要。	ほぼ寝たきりで意思疎通が困難。常に介護が必要。
相談 家族支援	民生委員 ・ 福祉委員 ・ 地域包括支援センター ・ ケアマネジャー					
		認知症相談センター ・ 認知症サポーター ・ 認知症カフェ ・ 初期集中支援チーム ・ 介護ほっこりおしゃべり会 ・ 認知症地域支援推進員				
見守り 安否確認 （緊急時）	安心キット ・ 民生委員 ・ やすらぎ支援員 ・ ご近所の方 ・ ご家族 ・ 福祉委員					
		高齢者見守り登録 ・ QRコードシール ・ SOSネットワーク ・ GPS貸与				
	緊急通報システム ・ 消防 ・ 警察					
医療	認知症検診					
	かかりつけ医 ・ かかりつけ歯科医 ・ かかりつけ薬局 ・ つながりノート ・ 認知症専門医					
予防・交流 活動	健康長寿体操教室 ・ 脳の健康教室 ・ もの忘れ相談プログラム ・ ふれあいサロン ・ 老人クラブ					
役割	シルバー人材センター ・ 家での役割 ・ 地域での役割					
生活支援 身体介護		地域包括支援センター ・ ケアマネジャー ・ 協力会員 ・ 介護保険サービス ・ やすらぎ支援員				
住まい・施設 居宅系サービス	住宅改修 ・ 住宅改造	グループホーム ・ 軽費老人ホーム（ケアハウス） ・ 有料老人ホーム ・ 特別養護老人ホーム ・ サービス付き高齢者向け住宅				
介護サービス			デイサービス ・ デイケア ・ 訪問介護 ・ 訪問看護 ・ ショートステイ			
権利を守る	消費生活相談 ・ 成年後見相談 ・ 日常生活自立支援事業					
啓発	認知症サポーター養成講座 ・ 認知症キャラバン・メイト養成研修 ・ 認知症講演会等					

地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取り組み
認知症カフェの取り組み～チームオレンジへのつながり～

町内でオレンジCafe（認知症カフェ）の展開

- 町内7カ所　単発もあり
- 年間40回（年々増加中）
- 主催は様々
  小規模多機能施設・薬局・老健・キャラバン・メイト
  ＋地域包括
- ボランティア、地域活動栄養士会、町内セラピスト、
  キャラバン・メイト、B型作業所、図書館の協力で行っている。

オレンジCafe DE だがしやの取り組み

- 認知症当事者の居場所作り

　　↓　だがしやさんで店番することで・・・

・本人の役割・楽しみが出来た

・こどもたちと触れ合える場になった

・多世代交流出来た

・社会参加の場になった

当事者・家族と共に・・・
地域のサロンでの取り組み

・地域の通いの場（岡田っち・片山っち・よりみち）からのつながり。

↓

- 男性介護者の不満を吐き出せる場所がない。
- 男性介護経験者からの声を届けたい。

↓

オレンジCafeおやじの会開催（2回/年）
宮本っち（キャラバンさんの自宅開放して食事会）開催（不定期）。

↓

自分の思いを吐露できるようになった。

チームオレンジ
ゆう友サロン

- キャラバン・メイト6人と若年の当事者女性で月２回活動
- 4年目継続・チームオレンジ第1号
- 認知症状は進んでいるが・・・

↓

- 本人の笑顔がみれるように活動
- 本人・家族とも一緒に楽しむ時間になった

オレンジフェスタ

- 色んな場所でオレンジCafeを開催していたが、一同に会する事がなかった
- 地域の人に認知症を「知る・触れる・考える」機会を作りたい！

↓

アルツハイマー月間に合わせて図書館とコラボで
オレンジフェスタ初開催！！

認知症当事者講演会・写真展・認知症クイズスタンプラリー・オレンジガーデニングプロジェクト・DS・GH・ゆう友サロン作品展示・ヘルプカード作成・缶バッジ作り・絵本読み聞かせ・B型作業所販売・だがしやさん・おもちゃ図書館

↓

・こども向け企画や学生ボランティア参加で、多世代交流の場となった
・本人の講演会で新しい認知症観を知る機会になった。
・作品展示、販売等で参加者の活動を知ってもらうきっかけになった。

認知症とともに暮らすまち　猪名川町

- 最後に・・・

つながりを大切に、地域住民と関わっていきたい。

参加者が楽しく活動できるよう、まずは推進員が一緒に楽しむ！